

毎年大好評 Dr.バットの実践レクチャー開講！

9/12「高齢者介護に活かすアーユルヴェーダ」

9/13「リハビリに役立つアーユルヴェーダ」

◎場所：三鷹産業プラザ 三鷹市下連雀 3-38-4 URL

<http://www.mitaka.ne.jp/plaza/>

◎日時

9月12日(土)14時～16時半 講座 A「高齢者介護に活かすアーユルヴェーダ」

9月13日(日)14時～16時半 講座 B「リハビリテーションに役立つアーユルヴェーダ」

受講料：講座 A・B とも各 5,000 円です。2日連続受講の方は2日分で 9000 円に割引になります。

定員になり次第、締切らせていただきます。万が一、メールを送信後、一週間をすぎても当方から返事がなかった場合は不着の可能性もありますので、別のメールアドレス(satvik44@gmail.com)へ再送いただくか、お電話にてお問い合わせいただけますようお願いいたします。

問い合わせ先 Satvik アーユルヴェーダ・スクール tel 090-8559-2708

◎お申し込み方法：

タイトルに必ず何日の講座を申し込みたいか？を書いて info@satvik.jp までお送りください。

例 【9/12Dr.バットの講座申込み】あるいは【9/12+13日 Dr.バットの講座申込み】など。

3日以内に こちらから、お申し込み確認メールとともに受講料払込口座などのご案内をお送り致します。

お振込後のキャンセルは出来ませんが、代理の方の出席は可能です。録音録画は出来ませんのでご了承くださいませ。

その際に、お申し込みメールには以下の申込書の a~e をコピーして xxxx 部分の必要事項を埋めてお送りください。

===申し込み書===

a:お名前 xxxxxxxxxxxx

b:ご住所 xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx

c:当日連絡がつく携帯電話 xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx

d.受講希望日（御自分の希望以外の行を削除して、希望と同じ内容だけ残して下さい）

9月12日(土)講座 A「高齢者介護に役立つアーユルヴェーダ」のみ

9月13日(日)講座 B「リハビリテーションに役立つアーユルヴェーダ」のみ

9月12日と13日の講座 A・B の両日とも受講する

:以下に関して、ご自分にあわない項目は削除して、ご自分にあうものをいくつでも選んで残してください。

- ・アーユルヴェーダに関しては、ヴァータ・ピッタ・カパという言葉は聞いたことがある
- ・アーユルヴェーダに関しては、本を読んだり単発のレクチャーを聞いたことがある
- ・アーユルヴェーダに関しては、10時間以上の講座で学んだことがある
- ・アーユルヴェーダのセラピストとして働いている

以下はお差し支えなければお書きください。

- ・アロマ、リフレ、タイ式マッサージなどで働いている
- ・医療関係者である(資格:xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)
- ・事故や障害などで家族がリハビリを受けている(症状:xxxxxxxxxxxx)
- ・高齢の家族の介護をしている(症状:xxxxxxxxxxxxxxxxxx)

e:特に聞いてみたいご質問があれば、具体的にお書き下さい。(このレクチャーに関連したことに限らせていただきます。)

(xx)

Satvik アーユルヴェーダ・スクールと、医療法人 KYG ハタイクリニック(東京・目黒区)では、毎年共催で、ひとつのトピックに限定して、実践的なアーユルヴェーダの療法を深く学ぶセミナーを開いてきました。今年のテーマは高齢者介護と、事故や脳卒中によるリハビリテーションについて。デリーの大病院で西洋医学の医師達と協力して治療に当たっているアーユルヴェーダの名医から、実践的な知識を学びます。

回復を助けるための食生活や、家でも出来るマッサージや治療法など、アーユルヴェーダ初心者の方でも、すぐに役立つ知恵が満載です。

1日づつトピックを分けてありますので、1日だけの参加も可能です。医療関係者は

もちろんのこと、患者さんをお持ちのご家族の方、介護関係、社会福祉関係、セラピスト、アーユルヴェーダを学んでいる方、学びたい方、どなたでも歓迎です。介護やリハビリの問題に、何か解決策を見つけたい！という方は、是非ご参加ください。

◎Dr,Beema Bhat(ビーマ・バット)は...

Dr,バットは、WHO(世界保健機構)のアーユルヴェーダ担当も務めた豊かな学識と、温かい人柄で信頼され、インド大統領他VIPの主治医も務める名医です。デリーの聖家族病院(300床の総合病院)のアーユルヴェーダ科の主任医師として、西洋医学の先生達と協力しながら、診療に当たっているため、介護やリハビリの現場の方々からの専門的な質問にも具体的におこたえ出来ます。

昨年は「痛み」についての講座でしたが、ちょっと押さえるだけで即座に頭痛を治せるマルマ・マッサージの実演もありました。介護やリハビリの分野でも、ちょっとしたコツで活かせるアーユルヴェーダの方法がたくさんあります。

◎現場ですでに活用されているアーユルヴェーダの知恵

たとえば、ある訪問看護師さんは、お年寄りの口腔ケアをする時に、ゴマ油を使ったらとても簡単に綺麗になるので周囲に薦めたところ、今ではその看護ステーションでは他の看護師さん達もゴマ油を使うようになりました。

また、現在アーユルヴェーダのセラピストとして働き、かつてリハビリの現場で働いていた療法士さんによると、まず指の拘縮をとり、関節の稼働域を広げるのが大変なのに、アーユルヴェーダのマッサージをすると、あまりにも簡単にその部分がクリアできるので、今までの苦労は何だったのだろうか？と、思ったと言います。

こうしたちょっとした方法は、患者さんにとっても、現場の方々にとっても、助かりますよね。

また、現場に行き詰まり感を感じていた看護師さんの中には、アーユルヴェーダにもっと総合的な可能性を見いだした方もいます。

今回、このレクチャーを企画するに当たり、現場の方々からこんな質問をいただきました。これらの質問をカバーするようなレクチャーになるはずですが、どうぞ御期待ください。

- * 徘徊する高齢者に対してアーユルヴェーダでは何が出来るのか？
- * アルツハイマーによる認知症をケアできるのか？
- * 誤嚥性肺炎を起こさないために、飲み込む力を強くするには？
- * 交通事故の後遺症、脊椎損傷、脳血管障害の後遺症による片麻痺や筋力の低下に対して何が出来るか？

- * 関節の可動域を広げるためには どのようにマッサージすればよいか？どんなオイルがよいのか？
- * 手術後いつからマッサージをはじめればよいのか？マッサージのあと、どんなタイプのスヴェダナ(発汗法)を組み合わせるのが効果的か？
- * 指の拘縮に対してどうすればよいか？
- * 数年前からの拘縮であればどうすればよいか？
- * 昏睡状態でベッドにいる時に拘縮の予防のためのマッサージをはじめてもよいのか？
- * 発作後に筋肉や神経に強さを与えるためにとった方がいい食べ物と飲み物は何か？
- * もし患者が合併症をもっていたらどうするか？
- * 脳血管障害の後遺症で麻痺がある場合、糖尿病や高血圧を併発していたらどうするか？オイルマッサージをしてもよいのか？ ドライマッサージにすべきか？
- * もしも褥傷が出来ている場合はどうすればいいのか？
- * リハビリと一緒にアーユルヴェーダのトリートメントを始めるタイミングは？発作の直後か？血圧が安定するまで待つべきか？どのように決定すればよいのか？
- * 傷や怪我がある患者さんが、リハビリをはじめると場合には、アーユルヴェーダではどうフォローできるか？
- * 感覚器官や呼吸に異常がある場合、発語障害、排泄のコントロールなどをアーユルヴェーダではどうケアできるか？